

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.33

開催地：八代市麦島校区

平成19年10月2日（火）、八代市麦島校区（会場：植柳新町公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約30名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	30名
市外	1名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・横石地点で9,900m³/sが流れた場合、当該地区でどのくらいの水位になるか教えて欲しい。
- ・知事は、いろいろ県民に対する説明責任をしなさいと言っていて、そうしたこともあり、この報告会となったと思うが、知事はイエスもノーも言っていない。
- ・我々はマスコミの報道を頼りに現状を確認しているが、いろいろな意見が飛び交い、庶民は置いてきぼりにされている。説明会を行う際には、もう少しきちんとした資料を事前に配布してもらい、説明責任を行って欲しい。
- ・今の整備計画は第何次か。

【球磨川の治水対策について】

- ・堤防の住宅側で土留めがほとんど無いところがある。土留めが無いところでは、崩れかかっており、生活道路に泥が流れ出している状況。工事をする時に手を抜いてつくるところがあるのではないかと。部分的に未整備ということか。
- ・この区では、梅雨時期の満潮時には水が溜まることがある。ポンプアップなどの内水対策ができないか。
- ・川辺川ダムについて、現地を視察したい。
- ・川辺川ダムの計画が出来て現在までに何年たっているのか。また、川辺川ダム建設事業にどのくらいお金をつぎこんでいるか。川辺川ダムの本体を造っていくことになる膨大なお金がかかると思う。
- ・県財政の厳しい中、本当に荒瀬ダムを撤去できるのか。その次は瀬戸石ダムも撤去し、遙拝堰で洪水調節するようなことがあるのか、技術的に分からないので教えて欲しい。
- ・橋から少し行った河川敷に降りるところの護岸が浸食されている。建設省時代に根固めを設置してもらい、だいぶ良くなったが、ブロックが倒れており、まだ浸食が進んでいると思う。あそこがやられると南公園を含む一体は一直線に洪水に襲われてしまう。
- ・筑後川では、湾曲部の内側を洪水が流れるようにして、排水をよくしているところが沢山あるが、球磨川ではそのような改修はできないのか。
- ・水路が逆勾配になって中に土砂が貯まっている箇所がある。対策として、柵を設置したり勾配を直したりすることはできないのか。
- ・ここは、水害になっても避難所が無い。避難所を兼ねた公民館等を建てようとするとき、国交省から補助はできるのか。

【球磨川の環境について】

- ・環境美化のため堤防に花を植えたらどうかと思う。南公園の堤防の下あたりは、雑草がいっぱいあるため、花を植えたらどうか。
- ・河川敷の上の堤防筋に2～3年前から放置されていた車が片付いていた。要望してから何年か放置されていた。
- ・堤防の草刈りを美化活動の前（6月、9月）にやってもらえないか。
- ・堤防が舗装されている所の先に1m下がって道がある。1m位の高さのコンクリがあり、子供が乗ったりして危

ない。きちっと整備して欲しい。

【その他】

- ・荒瀬ダムは、いつから本体を崩すことになっているのか。
- ・県財政は、税収がうまくあがらないから、積み立てた基金を取り崩している。本当に荒瀬ダムの撤去はできるのか。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

